

よくある質問（カリフォルニア州の生徒・保護者向け）

最終更新日：2026 年 10 月 16 日

1. 今回のインシデントの概要と ETS の概要について

ETS はカリフォルニア州と契約を結んでいる非営利の評価機関であり、カリフォルニア州の公立学校に在籍するすべての生徒を対象に、州・連邦政府が義務付けている試験を実施しています。ETS は、「カリフォルニア州全州生徒学力・学習進捗評価（CAASPP：California Assessment of Student Performance and Progress）」や「カリフォルニア州英語習熟度評価（ELPAC：English Language Proficiency Assessments for California）」など、カリフォルニア州全州の学力評価プログラムを支援しています。

2026 年 9 月 25 日、ETS は CDE との間でカリフォルニア州の全州評価情報を受信するために使用していたセキュアファイル転送プロトコル（SFTP）サイトに関わりのある、不正な活動を特定しました。

ETS はこれに関わっていたアカウントを利用停止とし、影響を受けた SFTP サイトをオフラインにした上で、外部のサイバーセキュリティ専門家の協力を得て調査を開始しました。この調査の結果、2026 年 5 月 22 日から 2026 年 9 月 18 日までの期間中、許可のない第三者が、流出していたログイン認証情報を使用してサイトに複数回アクセスし、カリフォルニア州の生徒情報が格納されたファイルをコピーしていたことが判明しました。

法執行機関およびサイバーセキュリティ専門家と連携した上で、ETS は、データが一般に公開されかねないリスクを低減するための措置をすでに講じています。

ETS は定期的なウェブ監視を行っていますが、現在までのところ、当該情報が公開されたことを示す証拠は一切確認されておりません。

2. 対象となった情報内容

過去 3 学年度に在籍したすべての生徒を含む（ただしこれらに限定されません）カリフォルニア州の生徒に関する情報が、アクセスされ、コピーされました。アクセスおよびコピーされた情報には、ETS がカリフォルニア州の全州学力評価プログラムに関連して保持している、生徒の人口統計情報、プログラム参加状況に関するデータ、および学力評価データが含まれていました。

アクセスおよびコピーされた生徒情報は個人によって異なりますが、以下の情報が含まれている可能性があります。

- 生徒の氏名、生年月日、住所、学校名、学区、学年
- SSID (Statewide Student Identifier)、現地での生徒識別番号。SSID (Statewide Student Identifier) とは、カリフォルニア州の公立 K-12 (幼稚園から高校まで) 教育システム内で、個々の生徒に割り当てられる、ランダムに生成された 10 桁の固有の番号のことです。詳細は www.cde.ca.gov/ds/sp/cl/ssid.asp をご覧ください。
- 性別、人種または民族、第一言語、出身国、英語学習進捗度などの人口統計情報
- 障害等級および第 504 条の適用状況、試験時の配慮事項、主な障害の種類
- 以下のプログラムの適用資格の有無：タイトル I、パート A、タイトル I、パート C、マッキニー・ヴェント法、軍関係者生徒 (Military Connected Student)
- 英語習熟度情報、全州学力評価の登録状況、参加状況、結果 (該当する場合)

すべての生徒の記録に、これらすべての種類の情報が含まれていたわけではありません。

アクセスおよびコピーされたデータには、社会保障番号、運転免許証番号、パスポート番号、金融口座情報、クレジットカードまたはデビットカード情報、およびアカウントのパスワードは含まれていませんでした。本インシデントにおいて、保護者の個人情報対象とされていませんでした。

法執行機関およびサイバーセキュリティ専門家と連携した上で、ETS は、データが一般に公開されかねないリスクを低減するための措置をすでに講じています。

ETS は定期的なウェブ監視を行っていますが、現在までのところ、当該情報が公開されたことを示す証拠は一切確認されておりません。

3. 私自身または子どもの情報がアクセスされ、コピーされたかどうかは、どのようにして分かりますか？

ETS は CDE の指示を受け、今回のインシデントで情報がアクセスおよびコピーされた生徒やそのご家族に対し、通知を行っています。

本インシデントに関する通知書や電子メールが届いた場合、アクセスおよびコピーされたファイルにお客様やお子様の情報が含まれていたものとご認識ください。

なお、通知が届かなくても、お客様やお子様の情報が影響を受けている場合があります。

対象者には、2023 年から現学年度までの間にカリフォルニア州の公立学校に在籍していた在校生や元生徒、および 2006 年以降にカリフォルニア州の学校からの転出や退学をし、CDE への転校確認を行っていない生徒が含まれます。

本通知では、インシデントの概要、対象となった情報の内容、州および ETS が講じている措置、利用可能ななりすまし防止サービス、ならびにご自身の個人情報保護のために実施できる対策について説明しています。

4. このインシデントは、現在成人している人を含む元生徒にも影響しますか？

はい。本インシデントは元生徒にも影響を及ぼす可能性があります。これには、直近 3 学年度にカリフォルニア州の学校に在籍していた方などが含まれますが、これらに限定されません。

対象となる元生徒（現在成人している方を含みます）は、今回のインシデントで情報がアクセスおよびコピーされていた場合、無料のなりすまし防止サービスをご利用いただけます。

5. 無料のなりすまし防止サービスは誰が対象になりますか？また、どのように申し込めばよいですか？

ETS は、今回のインシデントで情報がアクセスおよびコピーされた対象の在校生および元生徒に対し、Experian IdentityWorks のなりすまし防止サービスを 24 ヶ月間、無償で提供しています。

本サービスには、以下の 2 種類のパッケージが用意されています。

- **18 歳未満の未成年者**：保護者の方は、対象となる生徒を「Experian IdentityWorks Minor Plus」に登録できます。本パッケージの登録期限は 2027 年 3 月 19 日（当日有効）です。Experian IdentityWorks のウェブサイト（www.experianidworks.com/minorplus）にアクセスして登録してください。

2029 年 3 月 19 日までに 18 歳になる対象の未成年者は、18 歳に達した時点で、通知に記載されている成人用パッケージのアクティベーションコードを使用し、パッケージにご登録いただけます。

- **18 歳以上の成人**：対象となる成人（元生徒を含む）は、Experian IdentityWorks に直接ご登録いただけます。本パッケージの登録期限は 2027

年 3 月 19 日（当日有効）です。Experian IdentityWorks のウェブサイト（www.experianidworks.com/identity）にアクセスして登録してください。

ウェブサイトやアクティベーションコードを含む登録手順は、通知ページ www.cde.ca.gov/ets に記載されています。

対象となる方の登録費用は無料であり、クレジットカードも不要です。

また Experian は、なりすまし被害に遭われた対象の方に対し、被害回復のための支援も行っています。本支援は通知日から 24 ヶ月間ご利用いただくことができ、モニタリングサービスへの事前登録も不要です。

6. 通知書が届かない場合はどうすればよいですか？

通知書が届かなくても、お客様の情報が影響を受けている場合があります。特に連絡先情報に変更されている場合など、在校生や元生徒であっても通知が届かないことがあります。

対象者には、2023 年から現学年度までの間にカリフォルニア州の公立学校に在籍していた在校生や元生徒、および 2006 年以降にカリフォルニア州の学校からの転出や退学をし、CDE への転校確認を行っていない生徒が含まれます。

なりすまし防止サービスに関する詳細や、被害回復などの支援を受ける手順については、www.cde.ca.gov/ets をご覧ください。

7. 対象者が自身の情報を保護するためにできる対策には、どのようなものがありますか？

対象となる方には、身元情報保護サービスにご登録いただくことをご検討いただくとともに、生徒の個人情報が悪用される可能性に引き続き警戒していただくことが推奨されます。

生徒の学校名、全州学力評価、または本インシデントについて言及している、予期せぬ電子メール、テキストメッセージ、あるいは電話には、常に注意を払うことが最大限に推奨されます。身に覚えのない要求に対して、個人情報、パスワード、あるいは金銭に関わる情報を教えないようにしてください。なりすまし防止サービスへの登録にあたり個人情報を入力する際は、事前にウェブサイトのアドレスをご確認ください。

成人の対象者は、www.annualcreditreport.com にアクセスし、あるいは、1-877-322-8228 にお電話いただくことにより、無料の信用調査報告書を入手できま

す。成人の対象者は、ご自身の信用ファイルに対するセキュリティ凍結を無料で設定できます。

保護者の方は、16 歳未満のお子様の名義で不正に口座やアカウントが開設されるのを防ぐため、お子様の信用凍結（クレジットフリーズ）の無料設定もご検討ください。

信用調査報告書、不正利用アラート、セキュリティ凍結に関する詳細情報については、以下までお問い合わせください：

- Equifax: 800-685-1111 | www.equifax.com
- Experian: 888-397-3742 | www.experian.com
- TransUnion: 833-799-5355 | www.transunion.com

社会保障番号や金融口座情報は本インシデントの影響を受けていませんが、個人情報保護の観点から、予防措置を講じることをお勧めいたします。

8. 本インシデントに関する連絡が真正なものであるかどうか、どのように見分けられればよいのでしょうか？

本インシデントに関して ETS、CDE、Experian を名乗る不審なメール、電話、テキストメッセージに警戒することがポイントです。

身に覚えのない要求に対して、社会保障番号、パスワード、金融関連情報、あるいはその他の機密性の高い個人情報を教えないようにしてください。

対象者には、通知書にて無料のなりすまし防止サービスへの登録方法をご案内いたします www.cde.ca.gov/ets。

登録は無料で、クレジットカードは必要ありません。

連絡が真正なものであるか不明な場合は、CDE の公式インシデントウェブページ（www.cde.ca.gov/ets）にて詳細をご確認いただけます。

9. 本インシデントに対処し、今後の再発を防ぐために、ETS と州はどのような措置を講じているのでしょうか？

本インシデントの発覚後、ETS は SFTP サイトのセキュリティの強化に向け、数多くの措置を講じてきました。具体的には、SFTP サイトをオフラインにする措置や、セキュリティ対策を向上させたまったく新しい SFTP サイトを構築する措置などを講じています。ETS では、適切と思われるさらなるセキュリティ対策について、引き続き検討を行っています。

法執行機関およびサイバーセキュリティ専門家と連携した上で、ETS は、データが一般に公開されかねないリスクを低減するための措置をすでに講じています。さらに、ETS は定期的なウェブ監視を行っていますが、現在までのところ、当該情報が公開されたことを示す証拠は一切確認されておりません。

CDE および州教育委員会（SBE）は、州のサイバーセキュリティ専門家と協力しながら、本インシデントがカリフォルニア州の生徒とその家族の皆様にあたる影響を評価するとともに、影響を受けた方々が適切な情報と支援を受けられるようにする取り組みを進めています。

カリフォルニア州サイバーセキュリティ統合センター（Cal-CSIC）は、デジタルフォレンジックおよびインシデント対応に関する支援を行っています。また、カリフォルニア州技術局（CDT）およびカリフォルニア州知事緊急事態対策局（Cal OES）も、同州の技術的対応、法的対応、および運営上の対応を支援しています。

CDE と SBE は、本インシデント、ならびに適用されるデータセキュリティ上および契約上の要件に対する ETS の準拠状況について調査を行っています。

10. なぜ ETS はこの情報にアクセスできたのでしょうか？

ETS はカリフォルニア州と契約を結んでいる非営利の評価機関であり、カリフォルニア州の公立学校に在籍するすべての生徒を対象に、州・連邦政府が義務付けている試験を実施しています。

そうした事業の一環として、ETS では、カリフォルニア州の全州学力評価プログラムに関連する生徒の人口統計情報、プログラム参加状況に関するデータ、および学力評価データを保持しています。